



# あきほ

A K I H O

2022年 春

53

ご自由にお持ち  
ください。

【特集】

## 「日本海ヘルスケアネット」の取り組み 及び今後の展望について





## 理事長挨拶

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

理事長 栗谷 義樹

山形県・酒田市病院機構は、平成20年4月の旧県立日本海病院と旧市立酒田病院の再編・統合以来、この4月で設立15年目を迎えました。平成30年4月からは新たに酒田市から移管統合された日本海八幡クリニック及び市内5診療所を加えて運営が行われています。また、同年、当病院機構を中核とする地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットを設立いたしました。これまで、多大なるご理解とご支援をいただいた県民、市民の皆さま、より質の高い医療サービス提供に日夜懸命に努力してきた職員の皆さまには、改めて心から感謝を申し上げます。

さて、今年度も世界は新型コロナウイルスによるパンデミックにより、社会の経済活動、医療の大混乱が引き続いた年になりました。山形県は一昨年3月31日に第1例の発生報告があり、庄内では翌4月5日に最初の感染者が報告されて以来、今日に至るまでスタッフは本当に長い時間、このウイルスと隣り合わせで働いてきたこととなります。今後の展開は、現在懸念されているオミクロン型の動向次第でまだ不透明ですが、ワクチン接種も進み収束の目途も少しですが薄明かりが感じられるところまで来ています。

今回のコロナ禍は、小規模の医療機関と、病床数の多さ、医療資源と職員が分散されている日本の医療提供体制の弱点を直撃したところがあり、欧米より遥かに少ない感染者数、死者数にも拘らず、日本の医療業界は大混乱に陥りました。コロナ以前からの医療提供体制の構造問題への切り込みは、早晚、必至となると思われます。地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットはこうした状況に対応し、地域の医療、介護事業のSDGsを念頭に設立されました。

これからも医療を取り巻く環境変化を的確に捉え、基本理念のもと職員一丸となって力を尽くして参ります。今後とも当病院機構、地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットにご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのご健勝を、心からお祈り申し上げます。

# 私の 仕事 紹介リレー

日本海総合病院 透析室  
看護師 多次見 歩



## 〈自己紹介〉

透析室看護師4年目の多次見歩です。透析室で勤務する前は集中治療室や外科病棟での勤務が長かったですが、今は透析看護にやりがいを感じながら日々働いています。

日本海総合病院の人工透析室には血液透析のほかに腹膜透析という治療を受けながら生活している患者さんもいます。腹膜透析は血液透析とは違い、ご自宅で患者さん自身が行う透析方法です。わたしは腹膜透析をしている患者さんへ正しい知識を提供し、安心して在宅で治療ができるようにサポートをしたいと思い、昨年腹膜透析指導看護師の認定を取得しました。

## 〈透析室看護師の業務〉

日本海ヘルスケアネットの一環である人事交流のため、2021年10月から本間なかまクリニックに出向しています。本間なかまクリニックは70床の維持血液透析のクリニックです。

わたしは透析前の体調確認を行い、針を刺し、機械を操作して透析を行うという一連の透析業務を行っています。看護師だけではなく、医師、臨床工学技士と連携を取りながら患者さんが安全に安心して透析治療が受けられるように援助をしています。透析中の体調の変化にすぐに対応できるよう血圧をチェックし、

困っていることはないか注意しながら観察を行います。透析患者さんは食事面など生活の中で注意しなければならぬことがあります。透析中のみならず、日々の生活での注意点が守られているか、分からないことや困っていることがないか患者さんやご家族にお話を伺いながら関わっていくことが重要になります。透析患者さんにとって命綱となるシヤントの観察や管理の方法の指導、シヤントの検査や治療を受ける際のお手伝いもしています。

## 〈これからの目標〉

今回の出向を経験し、維持透析について理解を深めることができました。透析患者さんの高齢化や送迎の実情、たくさんの透析患者さんが安全に透析治療を受けるための工夫など学ぶことが多くありました。今後、日本海総合病院へ戻ったときに学んだことを還元し、よりよい看護に繋がっていきたいと思います。

また、現在透析をしている



患者さんはもちろんですが、今後透析が必要になる患者さんへの看護も充実させていきたいと考えています。患者さんやご家族にとって、透析が必要になるかもしれない状況になった時の不安や混乱は計り知れないものと思います。その気持ちに寄り添いながら、患者さん一人一人の生活やご希望に合う透析方法を考える一助になることができれば嬉しいです。

※シヤントとは動脈と静脈をつなぎ合わせて作った血管のことです。シヤントを作ることで血液透析を行うのに十分な血液が確保できるようになります。



# 地域医療連携推進法人

## 『日本海ヘルスケアネット』の取り組みについて

日本海ヘルスケアネット推進室 調整主査 矢野 剛

### はじめに

日本海ヘルスケアネット（以下、当法人）は、日本海総合病院等を経営する山形県・酒田市病院機構を中心に、酒田市内の9法人（令和4年1月現在10法人）が参加し2018年に設立された地域医療連携推進法人です。地域医療連携推進法人とは、地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、病院等に係る業務の連携を推進するための方針（医療連携推進方針）を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人を都道府県知事が認定する制度になります。複数の医療機関等が地域医療連携推進法人に参画することにより、競争よりも協調を進め、地域において質が高く効率的な医療提供体制を確保しようとするものです。令和4年1月1日現在、全国で30法人が認定されており、山形県では当法人が唯一の地域医療連携推進法人です。



市内9法人で設立（2018年4月）



理事会では活発な議論が交わされる

の形態は「在籍型  
出向」で、出向元  
と出向先で契約を  
結び、出向元の身  
分と職を維持しな  
がら出向先との雇  
用関係に入ります。  
出向期間は原則1  
年間で、引き続き  
出向が必要な場合  
は別の職員に交代  
します。

繁に視察に訪れ、また、マスコミに取り上げられることもしばしばです。

### 主な事業内容

#### 1 人事交流

人口減少が進み働き手が不足していくなかで、人事交流は参加法人の要望が最も多かった事業です。ここでは特に看護師の人事交流について説明します。

看護師の人事交流は、看護師の確保が比較的できている山形県・酒田市病院機構からの出向が主になっています。出向

#### 出向先のメリッ

トとしては、出向による増員で新たな施設基準の取得や維持が可能になり経営面でプラスになった、過重な勤務シフトが緩和できた、経験の異なる職員と仕事をすることでスキルアップにつながった、等の効果があげられます。一方、出向元では、出向を職員のキャリアアップ、能力開発の1つとして捉え、他法人での経験を通じて幅広い視点や新たな発想を身につけ、今後に生かしてくれることを期待して送り出しております。

人事交流を通じて、参加法人間の相互

理解が進み、また、日常の業務でも円滑なコミュニケーションが図れるようになってきています。

#### 2 看護管理者ネットワーク会議

看護管理者ネットワーク会議は、各参加法人の看護管理者間で連携し、地域が抱える様々な課題の解決に取り組み、質の高い看護・介護サービスを提供することを目的に、令和3年9月から活動をスタートしました。

令和3年度は「①この地域を感染から守る」、「②北庄内地域の食支援の質の向上」の2点をテーマとして活動しています。「①この地域を感染から守る」では、



感染管理認定看護師より  
各施設ハズーニングのアドバイスを実施

新型コロナウイルス感染症発生時に適切な初期対応によってクラスター発生を防ぐべく、日本海総合病院の感染管理認定看護師を講師として、参加法人各施設の感染症対策マニュアルやゾーニングに対して専門的な立場からアドバイスを行っており、「②北庄内地域の食支援の質の向上」では、口腔ケアや食事支援等について各種研修会の開催により、誤嚥性肺炎の予防のための知識・技術を修得し実践することで誤嚥性肺炎を減少させることを目標にしています。令和3年12月には『食事支援の基礎』をテーマに第一回オンライン研修会を開催し、多くの方に参加いただきました。

看護管理者ネットワーク会議はまだスタートしたばかりですが、月に一度各法人の看護管理者が顔を合わせ、それぞれが直面している様々な課題について議論し情報共有することは、相互理解を深め仕事の連携もスムーズになることが期待され、非常に意義あることと考えています。

### ③ 地域フォーミュラリ

薬品の地域フォーミュラリは、薬剤師会の提案で2018年11月から始めた事業です。一般にフォーミュラリとは「患者に対して有効性、安全性、経済性などの観点から選択されるべき医薬品集および使用指針」のことで、良質・低価格な医薬品の使用指針に基づいて、標準薬物治療を推進することが目的になります。

フォーミュラリを病院で行っている例はありますが、地域での取り組みとしては日本で初めてということもあり、全国的に注目されている事業です。当地区では令和4年1月現在、左表のとおり11薬剤について実施しています。

効果としては、診療報酬等のデータの入手が難しいため当法人独自の試算になりますが、2019年と2020年の比較で、この地域での年間節約費用が7千

### 地域フォーミュラリ一覧

	薬 剤 名	備 考
胃酸の分泌を抑える薬 プロトンポンプ阻害薬 PPI	ランソプラゾール	ジェネリック薬
	ラベプラゾール	
	オメプラゾール	
食後過血糖を抑える薬 α-グルコシターゼ阻害薬 α-GI	ボグリボース	ジェネリック薬
	ミグリトール	
高血圧治療薬 アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬 ARB	テルミサルタン	第1推奨
	オルメサルタン	第2推奨
	カンデサルタン	第3推奨
コレステロールを下げる薬 HMG-CoA還元酵素阻害薬 スタチン	ロスバスタチン	選考理由 ★作用時間が長い ★相互作用が少ない
	ピタバスタチン	
骨粗鬆症治療薬 ビスホスホネート製剤	アレンドロン酸Na35mg	第1推奨
	リセドロン酸Na17.5mg	第2推奨
	リセドロン酸Na75mg	
抗ヒスタミン薬 (アレルギー性鼻炎に限る)	ロラタジン	選考理由 ★眠くなりにくい(安全性)
	フェキソフェナジン	
抗インフルエンザ薬 (成人の治療に限る)	オセルタミビル	内服 第1推奨
	ゾフルーザ	内服 第2推奨
	イナビル	吸入薬
	リレンザ	
	ラビアクタ	注射薬
神経障害性疼痛緩和薬	プレガバリン	ジェネリック薬
抗ヘルペスウイルス薬	バラシクロビル	腎機能やアドヒアランスに問題がある場合はアメナリーフを推奨 それ以外はバラシクロビルを推奨
	アメナリーフ	
高血圧治療薬配合剤 ARB + Ca拮抗薬	テラムロ	テルミサルタン+アムロジピン
	カムシア	カンデサルタン+アムロジピン
バイオンシラー製剤	インフリキシマブ	先行品より安価

### 今後に向けて

急速に進む少子高齢化、過疎化の状況

3百万円と推計しています。また、薬局では抱える医薬品の種類が減り在庫管理の負担が軽減された、等の効果が出ています。

今後も周知の徹底、効果の検証、さらなる推奨薬の検討に取り組む予定です。

のなかで、住民の方が安心してこの地域で暮らしていけるように、医療、介護、福祉等の切れ目のないサービスを、将来にわたって安定的に提供することをめざして今後も取り組みを続けてまいりますので、皆さまのご支援をよろしくお願いたします。



# 日本海ヘルスケアネット

## 今後の展望

日本海ヘルスケアネット推進室長 田中愛久

日本海ヘルスケアネットは、加盟する10組織の結びつきを強化し、それぞれの組織が活性化するために、相互の連携強化を図ってきました。最近では看護管理者部会を新たに立ち上げるなど、顔の見える協力関係の強化を進めています。そして今後の新たな取り組みも始まっています。

さらなる連携の強化に向けて

11組織に拡大

鶴岡市東原町で平成11年から開院されている「すこやかレディースクリニック」(理事長 斎藤憲康氏)が令和4年4月1日から日本海ヘルスケアネットに加入することになりました。

「すこやかレディースクリニック」は庄内地区で先駆的に人工受精、体外受精、凍結卵による体外受精、顕微受精など、ほとんどの不妊治療を行っています。

不妊治療は、国の医療制度でも重要視されてきており、今後、日本海総合病院との人的交流などを通じて連携強化を図ることで庄内地域での不妊治療の拡充に大きな役割を果たせるものと期待されます。



斎藤憲康先生



すこやかレディースクリニック



日本海総合病院でも  
不妊治療のための  
施設整備を計画

「すこやかレディースクリニック」の連携強化を図るとともに、日本海総合病院においても新たに不妊治療に取り組むために新しい施設整備を現在、計画しています。

このことにより酒田地域・庄内地域をはじめ、不妊に悩まれている多くの方々が積極的に治療を進められるものと期待されます。

## 兵庫県但馬地域との

### 連携を図ります

「但馬を結んで育つ会」

との連携強化

兵庫県但馬地域は、庄内地域と同じく日本海側に面しており、人口減少や少子高齢化によって近い将来、医療・介護不足が大きな課題となりつつあり、庄内地域と同じような環



視察時には活発な意見交換がなされた（2021年11月）



境にあります。

このような地域の医療課題に取り組んでいるNPO法人「但馬を結んで育つ会」（代表理事 千葉義幸氏）と日本海ヘルスケアネットは、同じような課題解決のために情報共有と連携を深めることとしております。

令和3年11月下旬に「但馬を結んで育つ会」のメンバー10名が日本海総合病院を視察に訪れ、日本海ヘルスケアネットの会議にも参加され様々な情報交換を行いました。

今後、両者で連携協定を締結することとしており、連携強化を図ることとしております。

### 「但馬を結んで育つ会」 代表理事 千葉義幸先生からの メッセージ

昨年11月末に「但馬を結んで育つ会」の理事、推進委員で山形県酒田市の日本海ヘルスケアネットの視察をさせて頂きました。令和元年に栗谷理事長に但馬にお越しいただき、ご講演をいただきました。その取り組み、成果については、これまで何度も我々の会員の皆様にご紹介させていただいてきました。

かねてからご無理をお願いし、コロナ禍の影響もありましたが、やっと我々の念願が叶い、実際の目でその取り組みを確かめられました。そこには日本で最も進んだ医療連携推進法人の姿があり、地方の二次医療圏における、そして何よりも我々の但馬が目指すべき医療福祉連携の将来の姿がありました。面積、高齢化率、人口増減率、県庁所在地からの距離など、但馬と非常に状況に近い庄内地域で、日本海総合病院がカルテ情報を開業医、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所等に提供し、患者さんの投薬情報が共有され、さらにマンパワーの補完、送迎システムの整備など、実際にその完成度の高さが肌で感じられました。そして何よりも連携する医療福祉関係者間の垣根が低いこと、その和やかな雰囲気全てを物語っております。



千葉義幸先生（右）と  
栗谷代表理事

たまたま乗ったタクシーの運転手に日本海ヘルスケアネットのインタビューをしたところ、非常に優しい表情で日本海総合病院への信頼、自分の情報が関わる医療福祉機関で共有されていることへの安心を語っておられました。

日本海ヘルスケアネット理事会の終わりに但馬の現場、我々「但馬を結んで育つ会」の取り組みをご紹介する機会を頂きました。距離は遠くても、同じ日本海側で、何とか自分の故郷を支えていこうとする同志として、日本海ヘルスケアネットと「但馬を結んで育つ会」の連携が承認されました。

我々の目指すお手本がそこにはあり、そして連携をして頂ける、「但馬でこれからも安心して暮らせるように」頑張る未来への道を作っていきたいと思っております。

2022年3月 千葉 義幸

## 啓翁桜を 寄贈いただきました

2月18日(金)酒田市より、啓翁桜とメッセージカードを寄贈いただきました。

頂戴したときは蕾でしたが、数日後には八分咲き、満開になりました。

冬に花を咲かせる桜に、職員一同、元気と癒しをいただいております。

一足早い、春の訪れを感じることができました。



1階ホスピタルストリート



2階ホスピタルストリート



### 医師異動

**転入者** 日本海総合病院  
1 前任地 2 趣味・特技



消化器内科  
**菅原 心平**  
1 山形大学医学部附属病院  
2 お芝居・フィルムカメラ・料理



消化器内科  
**篠原 進太郎**  
1 河北総合病院  
2 サウナ

**転出者** 日本海総合病院

放射線科 **小野 伴** 本間病院  
初期研修医② **大友 諒** 最上町立最上病院

### 編集後記

Editorial note

今号は、今年で設立5年目を迎える地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットを特集いたしました。当法人の取り組みや今後の展望について余すことなく掲載し、読み応えのある広報誌となっております。ぜひ多くの皆さんから読んでいただきたいです。

冬に花を咲かせる啓翁桜が満開に近づくにつれ、春の訪れが待ち遠しいですね。



地方独立行政法人  
山形県・酒田市病院機構

#### <基本理念>

1. 安心、信頼、高度な医療提供
2. 保健、医療、福祉の地域連携
3. 地域に貢献する病院経営

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。

☎ 0234-26-2001 (代表)

日本海総合病院 経営企画課広報誌担当まで

✉ kikaku@nihonkai-hos.jp

日本海総合病院では広報誌以外にも情報発信を行っています！

f 臨床研修Facebook 公式ページ

www.facebook.com/nihonkaihos.kensyu

f 看護部Facebook 公式ページ

www.facebook.com/nihonkaihos.kango

🐦 日本海総合病院 Twitter 公式アカウント @nihonkai\_hosp